

お知らせ

課名	医療推進課
担当	山崎、岩本
内線	2619
直通	086-226-7321

県と第一生命保険株式会社による「自分の思いを 家族等と共有するためのツール」の作成について

近年、人生の最終段階における過ごし方について、元気なうちから考え、自分の思いを周囲と共有しておくことの重要性が言われています。本県では、国の動きに先駆け、昨年度から重点事業「幸福な長寿社会実現事業」として県民への普及啓発に取り組んでいるところですが、このたび、第一生命保険株式会社と協働して「自分の思いを家族等と共有するためのツール」を作成し、営業職員を通じた普及に取り組むことといたしましたので、お知らせいたします。

なお、本件は、昨年11月2日に二者が締結した包括連携協定に基づく取組の一環として実施するものです。

記

1 ツールの概要

- (1) 名称 「これからの人生をより良く生きるために～話しましょう、これからのこと」
- (2) 規格 A4判 カラー4ページ
- (3) 数量 当面配布分として10,000枚作成

2 ツールの利用方法

第一生命の営業職員が、定期点検（契約内容確認のための訪問、年1回程度）の際、顧客にツールの趣旨を説明して一緒に記入。記入後のツールは保険証券と一緒に保管していただく。

3 期待される効果

日頃から自分がこれからの人生をどう生きていきたいのかを考え、周囲に思いを伝えておくことで、将来「もしもの事態」（重大な病気や事故など）が発生したときに、どういった医療やケアを受けるかを自分が選択したり、家族等が本人に代わって判断したりする際の助けになる。このことは、県民一人ひとりが最期まで自分らしく生きられる「幸福な長寿社会」の実現につながるものである。

【参考】「幸福な長寿社会実現事業」について

1 事業概要

- ・ 県民一人ひとりが将来の療養生活について考え、あらかじめ家族や医療・介護関係者と話し合う文化の醸成と、本人の希望が叶えられる環境の整備を行う。(県民への普及啓発と、医療・介護従事者の人材育成)
- ・ 平成 29～32 年度新規重点事業
- ・ 生き生き指標
「人生の最終段階で受きたい医療について家族と話し合ったことがある県民（60 歳以上）の割合」
H28 : 46.7% → H32 : 70.0%

2 これまでの取組

(1) マスメディアを活用した広報

① テレビ

- ・「最期まで自分らしく～伝えよう、あなたの思い」＜RSK＞ (H29.12)
- ・「最期まで自分らしく～“もしも”に備えて話し合おう」＜TSC＞ (H31.1)
- ・「最期まで自分らしく～ももっちと考えよう、これからのこと」
＜oni ビジョン制作、県内全ケーブルテレビで放送＞ (H31.1～3)

② 新聞広告

- ・ 山陽新聞「知事対談：幸福な長寿社会の実現を目指して」 (H30.3)
- ・ 〃 「最期まで美味しいを楽しもう！」 (H30.3)

(2) きめ細かな啓発

① DVDの貸出し

- ・ 県からの貸出実績 (H30.1～H31.1) 119 件 1,376 人が視聴
- ・ そのほか、市町村において住民講座等で使用

② パネル展

- ・ 天満屋（岡山店、倉敷店、津山店） (H30.1～3、H31.3)
- ・ イオンモール岡山 (H30.3)
- ・ 県立図書館 (H31.1～2)

③ セミナー

- ・「最期まで美味しいを楽しもう」 (H30.3、H31.3)

(3) 医療・介護人材の育成

- ① 医師研修事業（通算 5 回開催、延べ受講者 286 人）
- ② 看護職研修事業（通算 4 回開催 〃 411 人）